

“夏休みに向けて計画と準備を” ～夏休みを有意義に過ごすために～

市総体・中央地区総体が終了しました。昨年度は、新型コロナの影響で実施されなかった総体が、今年度はさまざまな制限の中で開催されました。3年生にとっては部活動の集大成とも言える総体、出場する一人一人がそれぞれの思いをもって臨んだことと思います。市・中央と勝ち進んで県大会へ出場する選手・チームの皆さん、更なる活躍を期待します。是非、関東・全国への切符を掴んでください。一方で、残念ながら、敗戦・引退をすることになってしまった3年生は、とても残念ですし、悔しい思いがあると思います。しかし、今までの努力・経験は何事にも代えがたいものであり、これからの生活していく上で、大きな糧となることでしょう。次の目標に向かって、邁進して行ってください。本当にお疲れ様でした。

また、我々教職員も、この4ヶ月、さまざまな場面で、多くの生徒から喜びをもらい、感謝の気持ちでいっぱいです。一人一人が充実感や達成感を味わい、成長した自分を誇らしく感じながら、清々しい気持ちで夏休みを迎えられたらうれしいです。そして、1学期の反省をもとに実行可能な計画を立て、それぞれの目標実現のために努力し、充実した夏休みにしてほしいと願います。反省するときに大切なのは、さまざまな視点から振り返ることです。学習面においては、自主的に学習ができたか、真剣な態度で集中して授業に臨むことができていたか、各教科の提出物は期限を守ることができたかなど。生活面においては、学校のきまりを守ることができたか、当番活動や係・委員会活動を積極的にこなしたか。登下校の安全に関するルールを理解し、守れているかなど。その他にも部活動、友人関係、家庭での生活などの視点があります。目標や課題・改善点を明確にし、さらなる成長に向けた計画づくりに取り組んでみましょう。

さて、夏休みは楽しいものですが、3年生にとっては、受験に向けてとても大切な期間です。「夏を制する者が受験を制する」とよく言われます。本気で受験勉強に取り組みましょう。2年生は、部活動でチームの中心となって活動する役割を担います。大きく成長するチャンスです。1年生は、中学生として初めての夏休みを迎えます。先輩を見習って、失敗を恐れず、何事にも前向きにチャレンジし、心美しき・心強き2年生をめざしましょう。

保護者の皆様には、あらゆる面で御支援・御協力をいただき、誠にありがとうございました。夏休み期間、さらには夏休み明け以降と、引き続きよろしく願いいたします。

★ 知っていますか？スマホ脳 ★



先日、テレビのある番組で「スマホ脳」というテーマを取り上げていたので、ちょっと興味をもち、最後まで観てしまいました。「スマホ脳」とは、脳がスマホに支配される、スマホに依存してしまうこと、だそうです。ついついスマホを見てしまうのは、人は新しい情報に触れるとドーパミンが出るから。スマホを見てしまうのは、本能のようなもの。そこで、スマホ脳にならないための「3つのしない」があります。それは、①寝室に持ち込まない ②スマホを見えるところに置かない ③すぐに検索しないです。それぞれには、もちろん理由がありますが、ここでは、割愛させていただきます。また、スマホ依存が招く問題があります。ファントム・バイブレーション・シンドローム（幻想振動症候群）、スマホネグレクト（育児放棄）、肥満のリスクです。一方、スマホが役に立つことも当然あります。GPS機能を活用すると見知らぬ場所でもすぐに場所を特定できる、SNSによって人の命を救うことができたという奇跡が起こったなど、使い方次第では、とても便利で重宝な器具です。気を付けて、正しく使いたいものです。



【SNS利用について】

スマホやケータイ，パソコンのインターネット技術は，コミュニケーションを豊かにするだけでなく，日常生活やビジネスをはじめ教育，通信，行政，医療，福祉等，様々な分野で役立つ便利なものです。とても便利ですが，犯罪や大きなトラブルにつながる一面もあります。本校でも，折にふれSNSの利用について話題にしてきました。

情報化の「影」である危険性を，ネットを利用する子供たちと共に，我々大人たちも真剣に考えていかなければならないと思います。



1. メールの特性を理解しましょう

相手がすぐに返信できない状況にいる場合があります。返信を強要する事で関係が悪くなることもあります。文字だけでは，本当の気持ちを相手にうまく伝えられないこともあります。また，何気ない書き込みが，思わぬ事態を招き，犯罪につながることもあります。

2. インターネットは「自己責任」の世界です

インターネットを利用した結果起こった事柄については，中学生であっても大人と同じ責任が発生する場合があります。ネットショッピングやオークション，サイトへの書き込み，各種会員登録など，大人と同等の責任・自覚が必要となります。後から「軽い気持ちでした。」「知りませんでした。」は通用しないことが多いのです。

3. 様々な法律やガイドラインを学習しましょう

「知らなかった」では済まされない法律やガイドラインがあります。携帯端末の普及にともない，それらは年々変化しています。コミュニケーションアプリを利用した誹謗中傷（ひぼうちゅうしょう）は，刑法の名誉毀損（めいよきそん）罪や，侮辱（ぶじょく）罪等に問われることもあります。



4. ネット社会での匿名性は「幻想」です

ネット社会は，実名を直接出さなくて済む分，気持ちが大きくなって，普段言えないことも書き込んでいいような，ある種独特な雰囲気を感じてしまいがちです。でもその匿名性は「見かけ」だけ。メールや掲示板に書き込んだ内容は，誰が発信したか特定することができます。書いた後に「マズイ」と思い，会員を脱会したり，アドレスを新しくしても時すでに遅しなのです。

◎ 携帯端末は便利な道具ですが，一歩間違えると犯罪や相手を傷つけることにつながる危険な道具になってしまいます。使用に際しては，用途・時間・場所等を考えて利用する「自己管理能力・自己責任・正しいマナー」が必要です。ご家庭でもご指導よろしくお願いいたします。

